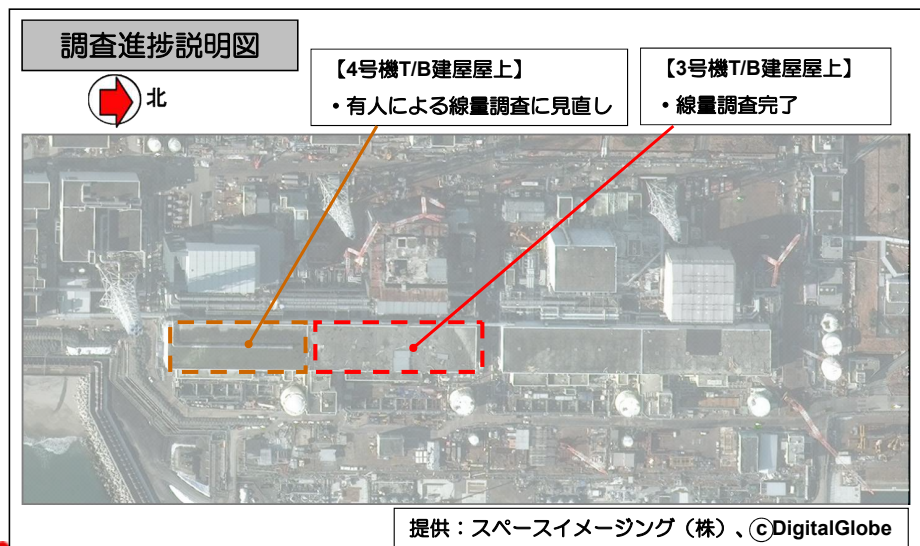


# マルチコプターを用いた タービン建屋屋上面の線量追加調査結果について

2015年11月26日  
東京電力株式会社

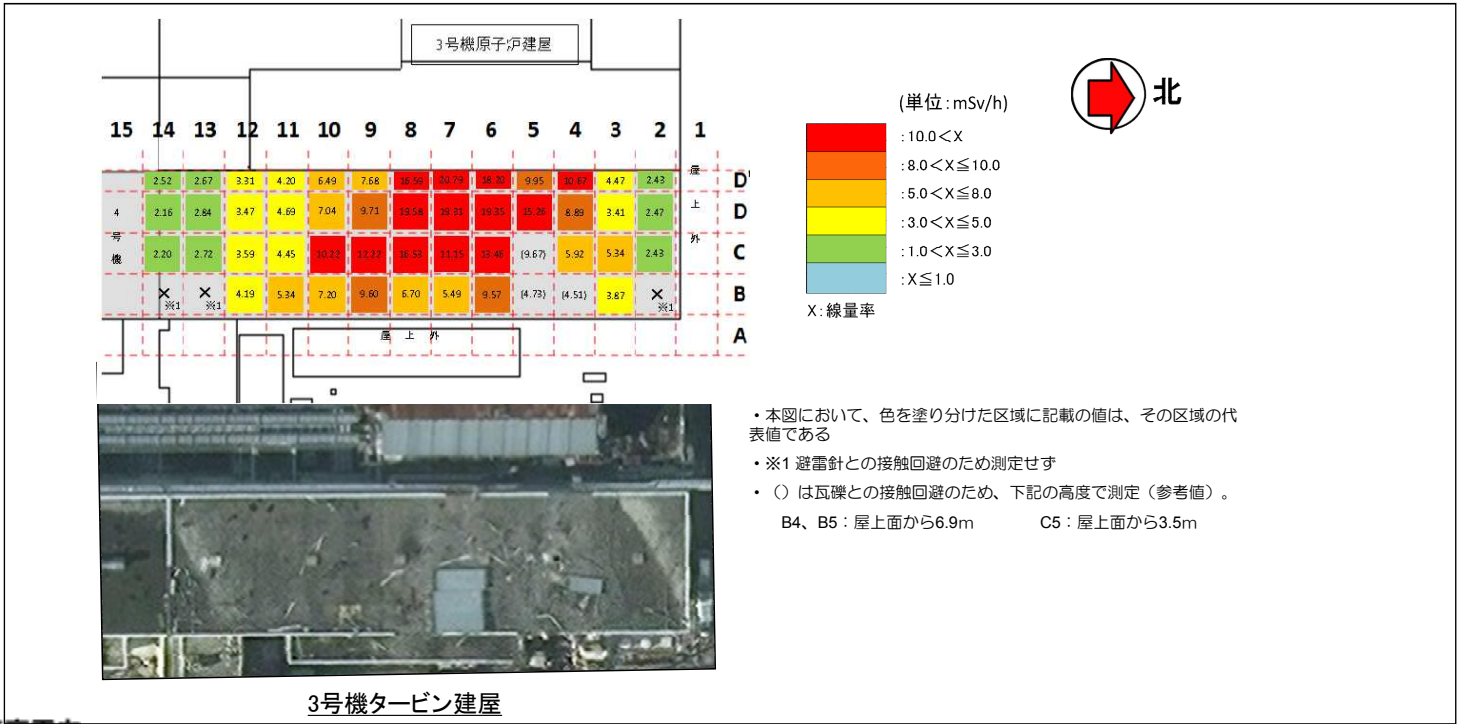
## 1. タービン建屋屋上面線量率追加調査の状況

- 過去の調査結果から、降雨時に各放水路に流入する雨水には、セシウムによる汚染が見られている。
- 放水路に流入する雨水の汚染原因調査のひとつとして、今年2月に1～4号機タービン建屋屋上面線量率の調査を実施。十分なデータ採取ができなかったことから、人の立ち入り可能な1，2号機を除き、3，4号機についてマルチコプターを用いて追加調査を計画。
- 9月16日（水）から10月5日（月）に3号機T/B建屋屋上を調査完了。
- 4号機T/B建屋屋上の線量調査については、大雨の影響による水たまりのため測定できず。3号機に比べ線量が低いことが推測されることから、マルチコプターから有人による調査に見直す。（退水後）



## 2. 調査結果(3号機タービン建屋屋上:1m高さ線量率)

- 屋上面から1m高さ位置での線量測定結果は下図のとおり、いずれの箇所でも1mSv/hを超える結果となり、有人作業は困難。  
(最大値：20.79mSv/h、最小値：2.16mSv/h)
- 本調査結果を基に、今後タービン建屋屋上の雨水汚染低減対策を検討。



## 【参考】タービン建屋屋上面線量率追加調査について

- 今年2月まで1～4号機タービン建屋屋上面線量率調査を実施したが、原子炉建屋等からの放射線による影響で、十分なデータ取得ができなかったことから追加調査を計画。
- 原子炉建屋等の影響を受けにくいよう、マルチコプターからワイヤーを用いて線量計を吊り下げ、屋上面に線量計を近づけて測定する方法に見直した。(飛行高さは約4m)
- 追加調査は、線量率が高く人が直接測定できない3、4号機タービン建屋屋上を対象に実施する。

